

「第2期 大町市SDGs未来都市計画（素案）」に対するパブリックコメント（意見募集）の結果について

第2期大町市SDGs未来都市計画（素案）について、パブリック・コメント制度に基づき市民の皆さまからご意見を募集しました。

貴重なご意見・ご提案をお寄せいただきありがとうございました。

お寄せいただきましたご意見の概要と市の考え方をまとめましたので、公表します。

【閲覧及び意見の募集期間】

令和5年1月6日～令和5年2月6日まで

【意見募集の結果】

提出者数 2名

提出件数 10件

【意見の内容及び意見に対する市の考え方】

No.	ご意見等の概要	市の考え方
1	<p>環境教育について、企業の子供向け環境教育を中心とした計画の様に思えるが、100年先を見越した計画のために、市民が中心となった環境教育の定着推進に見直しを進めて欲しい。地域に密着した自然環境の知識を基盤とし地理地形の知識を活かした、大町市独自の環境教育の計画と普及にするために、企業のみではなく、市民の活動にももっと目を向けた計画にして欲しいと感じる。</p>	<p>環境学習について、子どもたちが成長していくうえで必要不可欠となる郷土の環境学習をとおして、環境保全の認識を深め、市民が郷土に愛着を持って安らぎを感じる生活環境を形成するため、学習を継続的に推進します。また、生涯学習における学習活動の基礎となる地域資源、文化、地理等の知識、資料の体系的なアーカイブ化により情報発信や学習環境の充実を図ります。</p>
2	<p>人と自然を繋ぎ、未来へ目を向けて、全ての世代のグローアップを計る事の重要性が移住者にとっても、住みやすい街を目指す事に繋がると思う。大町の豊かな自然環境から恵まれる『食や住環境』を更に充実させ、大町市独自の地域性が光るSDGs未来都市にする為に、SDGs. 2. 3. 15を関連するゴールとして付け加えて欲しい。</p>	<p>本計画は、SDGs達成に向けた分野横断的な実施計画として位置付けを行っており、3年間の計画期間で、特に優先的に実施するSDGs関連の施策及びゴールを記載しています。なお、市政全体におけるSDGsとの関連については、第5次総合計画 後期基本計画や第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略などの計画において全17ゴールとの関連付けを行っており、2030年までのゴール達成に向け、市政全体でSDGsを推進することとしています。</p>
3	<p>P.4 観光資源には、等高線を縦横に流れる農業用水、街中を網目状に流れる水路（かつての生活用水）も入れたらどうか。まだ観光資源としては知名度が低いですが、他の地域にはない豊かな水資源だと思う。</p>	<p>地域資源の内容について見直しを行い、新たに作成しました。</p>

4	<p>ライチョウは特別天然記念物でもあるが、SDGs の陸の多様性を言うのであれば、文化財としての側面より「絶滅危惧種 (IB)」として扱った方がよいのでは。また、「ニホンライチョウ」→標準和名は「ライチョウ」。</p>	<p>本計画では、基幹産業である観光振興にあたり、地域資源である「水」をはじめとした文化や自然など地域の個性を活かした魅力ある持続可能で高付加価値な観光地域づくりを進めています。「岳文化都市」として、観光資源である登山の普及・振興や市のシンボルである特別天然記念物ライチョウの飼育研究等を通じた山岳文化の魅力の向上や、新たな「関係人口づくり」を推進することとしています。</p>
5	<p>KPI が何かわかりにくい。日本語で併記してほしい。</p>	<p>K P I (重要業績評価指標) と記載しました。 【KPI (Key Performance Indicator : 重要業績評価指標) は、「目標を達成するための取組の進捗状況を定量的に測定するための指標】</p>
6	<p>P.11 ほか 「農業者」を「農林水産業者」にしてほしい。林業では水源涵養の森づくりに携わっているし、漁協も水系の生物多様性の保持に貢献しているので。</p>	<p>「農業者」を「農林水産業者」に変更しました。</p>
7	<p>P.14 小水力→小水力やマイクロ水力 大町は多様な水力発電の展示場でもあり、再生可能エネルギーの一つとして注目されているマイクロ水力も入れてほしい。</p>	<p>「小水力、マイクロ水力、地熱、太陽光などの自然エネルギーの開発」に変更しました。</p>
8	<p>P.21 ほか 移住・定住の促進における大きなカギは仕事と住まい。仕事では、起業だけでなく、兼業・副業の促進や Wi-fi の普及などリモートワークができる環境づくり、実践者紹介なども入れてほしい。また住まいについては、公営住宅、空き家活用、シェアハウス、不動産紹介などにも力を入れていただけるとありがたい。 (定住促進ツアーでも仕事と住居に関する関心は高いので)</p>	<p>P20～R23 ステークホルダーとの連携では、計画の取組において連携する利害関係者、内容、効果について掲載しています。計画の達成に向けて重要な市民、市内外の多くの企業や団体等を示しています。ご指摘の仕事と住まいにつきましては、P11 からの自治体 SDGs の推進に資する取組において推進することとしています。</p>

9	P.22 ぐるったネットワーク → ぐるったネットワーク大町	「ぐるったネットワーク大町」に修正しました。
10	<p>全体について：SDGsは各目標がバラバラにあるのではなく、相互に関連している。そのため、今回掲載した目標に限らず、包括的に取り組む体制を部署横断的に組めるようにしてほしい。また、SDGsは「Transformation=変革」していくことが肝要であり、現状の施策にターゲットの「ラベリング」をただけではなく、市民と共に「持続可能な社会」のあり方を論じ、変革を実践していくものになってほしい。</p>	<p>大町市第5次総合計画 後期基本計画や第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略などの計画にSDGsの持続可能な開発目標の17の目標を視点に位置付け施策を推進することとしております。この計画では、「水を起点にしたまちづくり」を明確にして、市の様々な計画や戦略に横串を通して、市の関係部局の横断的な取組と位置付け、全庁で共通認識するものであります。また、将来ビジョン、SDGsの推進に資する取組や推進体制など定め、市民主体の産学官金連携によるパートナーシップの力により2030年のあるべき姿の現実と、SDGsの目標達成のため地域資源を活かした取組を推進することとしています。</p>